

基礎看護学Ⅲ

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 まゆみ 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、附属病院看護部		
対象学年	1	区分・時間数	講義 4.5 時間 演習 18 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

本科目は、人体の構造と機能を理解した上で臨むことが前提である。バイタルサインの測定の技術の習得をはじめ、DVD やシミュレーターを十分に活用し、看護におけるフィジカルアセスメントの意義や重要性を理解する。そして、全身状態を観察する健康状態の査定に関する技術を学ぶ。さらにフィジカルアセスメントだけでなく、心理社会的アセスメントであるヘルスアセスメントも加え、対象のアセスメントを理解する。

・教育成果（アウトカム）

人体の構造と機能を理解した上で授業に臨み、講義の他 DVD やシミュレーター、学生間での観察等を通して、視診、触診、打診および聴診等の技術を用いて、系統別に身体の状態を査定することができるようになる。事例では前述に、心理・社会的アセスメントも加え、対象に何が起きているのかをアセスメントし、必要な援助を考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4

・到達目標（SBO）

1. 看護に必要な人体の構造と機能について説明できる。
2. フィジカルアセスメントの方法について説明できる。
3. 心理社会的アセスメントの方法について説明できる。

12/1	金	3	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	頭頸部のアセスメント 口腔/咽頭/喉頭のアセスメント ・頭頸部のアセスメントの目的を理解し、系統的な観察ができる。
12/1	金	4	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	呼吸器系のアセスメント ・呼吸器系のアセスメントの目的を理解し、系統的な観察ができる。
12/8	金	1	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	循環器系のアセスメント ・循環器系のアセスメントの目的を理解し、系統的な観察ができる。
12/8	金	2	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	腹部消化器系のアセスメント ・腹部消化器系のアセスメントの目的を理解し、系統的な観察ができる。
12/15	金	2	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	脳・神経系のアセスメント ・脳・神経系のアセスメントの目的を理解し、系統的な観察ができる。
12/15	金	3	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座	野里 同 助教 小坂 未来 助教	筋・骨格系のアセスメント ・筋・骨格系のアセスメントの目的を理解し、系統的な観察ができる。
12/22	金	3	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 附属病院看護部	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教 佐藤 奈美枝 看護師長	事例を基にフィジカルアセスメントを実施① ・提示された事例について、フィジカルおよび心理・社会的アセスメントに必要な基礎的知識について、既修内容を踏まえアセスメントすることができる。
12/22	金	4	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 附属病院看護部	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教 佐藤 奈美枝 看護師長	事例を基にフィジカルアセスメントを実施② ・提示された事例について、フィジカルおよび心理・社会的アセスメントに必要な基礎的知識について、既修内容を踏まえアセスメントすることができる。

1/5	金	3	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 附属病院看護部	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教 佐藤 奈美枝 看護師長	事例を基にフィジカルアセスメントを実施③ ・提示された事例について、フィジカルおよび心理・社会的アセスメントに必要な基礎的知識について、既修内容を踏まえアセスメントすることができる。
1/5	金	4	共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 共通基盤看護学講座 附属病院看護部	柏木 ゆきえ 講師 小松 恵 特任講師 小林 由美子 助教 野里 同 助教 小坂 未来 助教 佐藤 奈美枝 看護師長	事例を基にフィジカルアセスメントを実施④ ・提示された事例について、フィジカルおよび心理・社会的アセスメントに必要な基礎的知識について、既修内容を踏まえアセスメントすることができる。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	基礎看護技術 I 第 4 版	深井喜代子編集	メヂカルフレンド社	2014
参	根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント	清村紀子 工藤二郎編集	医学書院	2014

・成績評価方法

定期試験 80%、演習への取り組み 20%の合計 100%により評価する。

・特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、教科書で予習した上で授業に臨むこと。解剖学・生理学の基礎知識が必須になるので、事前学修を行ってから授業に臨むこと。各授業について、最低 30 分の事前学修を要します。

授業で不明な点について事後学修をしっかりと行い、知識と理解の定着に努めること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

演習の評価は評価表に基づき評価し、後日学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野 I 基礎看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター (VPL-FHZ55)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ (P-100)	1	講義用資料投影
演習	プロジェクター (EB-536WT)	1	演習指導用動画投影
演習	書画カメラ (P30HD)	1	演習指導用資料投影
演習	HD デジタルビデオカメラ (XA35)	1	手技撮影・投影用
演習	フィジカルアセスメントモデル “Physiko” 付属品	3	演習指導
演習	呼吸音聴診シミュレーター “ラングⅡ”	1	演習指導